

秋田県
退職校長会

会報

題字 秋田 師山 書 (秋田市会員)

第 95 号

秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部
同窓会旭水會 内

令和2年7月30日 発行

秋田県退職校長会



結成五十一年目からの始まり

秋田県退職校長会会長 高橋 一郎

大変な幕開けになってしまいました。新型コロナウイルスの影響で空前の事態を迎え、本会のみではなく年度初めの事業が全国どこでも軒並みに中止されています。各郡市の皆様におかれましても、普段通りの活動ができずにご難儀なさっておられるのではないかと心配しております。

令和二年度の理事会・総会は開催できず、結成以来初めてとなる書面のやりとりによる審議となっていました。心ならずも、十分な話し合いを経ないままの今年度の始まりになってしまいました。理事の皆様、代議員の皆様によつて、たくさん議案を快くお認めいただきました。衷心より感謝申し上げます。人事に関しまして、改選の年ということで、どのような取り計らったら良いのかと悩みました。それでも原案どおり承認いただき、恐縮しております。私の会長就任は、突然のことで、非常に戸惑っており、自信はありませんが、やらざるを得ないと覚悟を決めた次第です。ほかに副会長等の改選もあり、新しい体制での会の活動となります。何卒よろしくご指導ご鞭撻ください。よろしくお願いいたします。

東北大会と結成五十周年事業を終えたばかりですが、次のステップを踏みだす年となっております。東北大会は六年に一回(今年度の岩手大会は次年度に延期)回ってくるものの、周年行事はしばらくありません。

んから、ここでじっくりと会の存在意義にまで踏み込んで議論しあい、充電することができないのではないかと考えております。折に触れて、ご意見を賜りたいと思います。

東北各県の退職校長会の主な懸案事項は、入会会員の確保と事業への参加状況に集約されるように思います。また、秋田県のように周年行事に絡んで、何らかのまとまりを得ようとする動きもあります。皆様が求めておられる退職後の楽しみを汲み取りながら、東北・全国と共に、本会の活動を推進してまいりたいと思います。何十年にもおよぶ教職生活と、そして校長としての教育行政・地域への参加・学校運営などに指導的な役割を担ってこられた皆様の集まる退職校長会で、衆知を集めて納得できる会にしたいものです。集まるのが楽しく、存在感・期待感のある退職校長会でありたいものです。単純に言葉通りにはできないとは思いますが、喜んで参加いただけるように、皆様と一緒に歩んで参りたいと思います。

コロナの災禍はまだまだ続くかもしれません。我々老人は、耐久力や免疫力が低下してきておりますので、油断すると命に関わってきますから、「三密」から「断密」へと、くれぐれも注意を重ねて参りましょう。一日も早くコロナの災禍が収束するよう願っています。皆様の彌栄(いよが)をご祈念申し上げます。

昭和四十九年四月、M村立O小学校へ転任となりました。完全複式、へき地三級の小さな学校です。文部省のへき地教育の指定校になっていて研究教科が理科、そしてテーマが「異学年同単元指導の在り方」でした。

夏休みが始まる七月のある日、文部省教科調査官のT先生が来校されました。急きょ授業を見てもらったのですが、それ以上に次の二つのことが強く記憶に残っています。

一つは、T先生が廊下にある黒板に「部落子ども会」とあるのを見つけて「まだ部落を使っているんですね。」と驚かれたことです。その後

「同和教育」について話を聞くことができましたが何とも言われぬ衝撃を受けたことを覚えていきます。

もう一つは、「低学年の理科、社会はそのうちなくなりますよ。」ということをお聞きしたことです。その時はピンときませんでしたが、十数年経て低学年に新教科「生活科」が登場しました。あの時、T先生はこのことを言っていたのだと思いました。

次の年は三年・四年担任となり公開の年を迎えました。「理科はわからない」と言つと「そういう先生がやる授業を子どもたちは喜んでだよ。」と言われ、その気になったりしていました。



秋田県退職校長会
副会長 佐藤 朋夫

ひとつ

こころの風景 四十七年前の残像

公開授業に向けて「ジャガイモを育てる」単元では、三班に分かれ思い思いの場所にイモを植え、観察日記を書きながら収穫を待ちました。中でも林の中に植えた班は茎が2M以上にも伸び子どもたちは「どんなに大きなイモが取れるか楽しみ」とワクワクしながら観察を続けました。いざ収穫です。掘ってみると直径2cm程の小さなイモがたった一つ出てきただけでした。「なぜなの？」とキョトンとした表情は忘れることができません。そのあとの授業でお日様のことに気づいたようです。

です。

公開授業では「デンプン」について調べる学習をしました。各自に手作りの「試験管たて」と三本の試験管を用意し、白Yシャツで作った「白衣」

を着せて、科学者になってもらいました。試験管にデンプンと水を入れ、よくふつたところに「ヨウ素液」を注ぐと、サアと「青紫色」に変わりますが、子どもたちはびっくりしていました。そのあとは、自分たちが用意したものにデンプンがあるか「ヨウ素液」をつけて調べる活動でした。教室や廊下にも多くの先生方が見えられ、身動きも取れないほどでしたが子どもたちが生き生きと学習してくれたことは今でも目に浮かんできます。

令和2年度新入会員の紹介(敬称略)

〔鹿色〕

新入会員はおりませんでした。

〔大館北秋田〕

高松 修二 伊藤 康栄 高橋 均
工藤 隆博 小林 一彦 永井 孝久
大丸ふさ子 三浦 栄一

〔能代市山本郡〕

工藤 克弥 鈴木 和人 五代儀敏正
加藤 友久 野村 重公 高橋 誠也
安井 正志

〔男鹿市〕

西村 充司 沢木 裕 吉田 雅美

〔潟上市・南秋田郡〕

戸部 裕隆 近藤 秀一 松野 紳一
稲荷 一清

〔秋田市〕

石郷岡仁司 七尾 尊志 小山 清博
鈴木 巧 黒澤 薫 角田 昭
工藤 絹子 今田 智範

〔由利本荘・にかほ〕

佐藤 緑 佐々木克也 打矢 敏昭
三浦 宏 相庭 良規

〔大曲仙北〕

沢屋 隆世 田仲 誠祐 佐々木明子
佐藤 厚子

〔横手市〕

佐藤 稔 内藤 佳史 七尾 博
高橋 均 石川 淳 嶋田 浩一
小野 譲 佐藤 宣延

〔湯沢雄勝〕

山崎 守 鎌田 功 佐藤 雅彦
柴田 浩義

令和2年度総会・理事会 書面決議にて承認される

令和二年五月七日（木）に予定されていた表記の会は、今年度に入ってから世界的に拡大した新型コロナウイルス感染防止の観点から、一堂に会しての開催は断念し、書面決議の形式で行われた。

佐藤前会長退任の挨拶

「飲水思源」



前会長 佐藤俊彦

全国的なコロナ禍の中、本会においても、「総会」が開催できなくなりました。そのような混乱

の中ではありましたが、私はこの度、会長を退任することになりました。二年間、大変お世話になりました。

「東北大会」・「結成五十周年記念事業」は、皆様方のご協力とご支援により有意義に終えることができたうえ、更に絆を深めることにつながり、喜びと感動を覚えました。

この二つの事業を担当したおかげで、「本会の在り方」について考える機会が、多々ありました。「飲水思源」（水ヲ飲ミテ源ヲ思フ）。今後は、「退職校長としての生き方」を自らに問いつつ、皆様方と楽しく参加してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和2・3年度 秋田県退職校長会役員

顧問	佐藤 重義	千葉 昭	佐藤 俊彦
会長	高橋 一郎		
副会長	須藤 幸紀	渡部 晟	佐藤 朋夫 長澤 公生
常任理事	須藤 幸紀	安倍 武義	渡邊 義實 伊藤 栄二
理事	各郡市から1名（但し、秋田市から3名） 下記のとおり		
監事	小林 茂	安倍 武義	藤原 保子
事務局長	長澤 公生		

郡市退職校長会役員

退職校長会名	会長	副会長	県理事	県代議員
鹿角 会員 76(67)《9》	石井 勲 0186-23-2363	吉成 博雄	石井 勲	戸未 容子・吉田 啓一
大館北秋田 会員 236(190)《41》	小林 茂 0186-62-9247	武田砂代子・仲村 吉光 小笠原友行・菅原 明雄	小林 茂	武田砂代子・仲村 吉光 小笠原友行・菅原 明雄 佐藤 久生
能代市山本郡 会員 185(163)《22》	須藤 幸紀 0185-55-0843	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫	須藤 幸紀	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫
男鹿市 会員 58(48)《10》	伊藤 章 0185-35-2785	三浦 豊彦・浅井 繁樹	伊藤 章	三浦 豊彦・浅井 繁樹
潟上市・南秋田郡 会員 90(78)《12》	渡部 晟 018-873-4994	伊藤 薫・齊藤 正博	渡部 晟	伊藤 薫・齊藤 正博
秋田市 会員 264(220)《36》	高橋 一郎 018-835-3692	伊藤 栄二・高田 均	伊藤 栄二・高田 均 加藤 豪之助	松田 行正・濱田 眞勝 齊藤 孝雄・林崎 勝誠 鎌田 寿和・羽川 誠
由利本荘・にかほ 会員 210(182)《28》	安倍 武義 0184-23-1372	佐々木 章・加藤 高行 工藤 奈子・佐藤 清和 菅原 耕悦	安倍 武義	工藤 奈子・佐藤 清和 菅原 耕悦・米持 隆司
大曲仙北 会員 215(166)《49》	渡邊 義實	柴田 政幸・高橋 正彦 千田 文和・山崎 敏	渡邊 義實	高橋 正彦・千田 文和 山崎 敏・小原 靖
横手市 会員 202(162)《40》	佐藤 民男 0182-32-5218	古関 俊勝・菊谷 隆志	佐藤 民男	古関 俊勝・菊谷 隆志 阿部 和明・吉田 真須夫 石川 真須夫
湯沢雄勝 会員 122(102)《20》	佐藤 朋夫 0183-43-2264	岡 光・大山裕一郎	佐藤 朋夫	佐藤 朋夫・大山裕一郎 滑川 道彦
会員数合計 1,658名（一般（会費納入）会員 1,378名）《名誉会員 267名》				

総会に付議する事項について、四月中に書面等にて各理事に送付・審議していただいた後、その回答内容を反映させた総会資料を全県の理事、代議員に送付し、同意書を返送していただいた。その結果、すべての議事は同意・承認された。

四月末から五月初めのあわただしい中、迅

速に対応していただいた理事、代議員の皆様のご理解・ご協力に改めて感謝申し上げます。なお、このたびの役員改選に伴い、新しい秋田県退職校長会会長に秋田市の高橋一郎氏が就任した。

他の役員は左記のとおりです。

令和元年度 会計決算書

収入総額 2,248,033円
支出総額 2,238,998円
差引残額 9,035円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	付 記
1. 負 担 金	2,100,000	2,113,500	13,500	1,500円×1,409人
2. 特 別 協 賛 金	0	50,000	50,000	
3. 繰 越 金	84,530	84,529	-1	平成30年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	4	-6	預金利子
合 計	2,184,540	2,248,033	63,493	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	195,000	180,162	-14,838	
(1) 総 会 費	100,000	110,282	10,282	交通費、資料等
(2) 理 事 会 費	55,000	54,720	-280	交通費、昼食代
(3) 監 査 会 費	20,000	15,160	-4,840	会場費、交通費等
(4) 幹 事 会 費	20,000	0	-20,000	交通費補助、会議費等
2. 業 務 費	320,000	356,560	36,560	
(1) 旅 費	300,000	356,560	56,560	全連退、他
(2) 慶 弔 費	20,000	0	-20,000	慶祝、弔意
3. 事 務 費	180,000	152,405	-27,595	
(1) 通 信 費	45,000	79,830	34,830	会報等送料、発送用具等
(2) 消 耗 品 費	25,000	30,455	5,455	紙、封筒、インク等
(3) 雑 費	15,000	16,862	1,862	筆耕料、謝礼、他
(4) 事 務 局 費	15,000	25,258	10,258	事務局通信費、コピー、印刷費等
(5) 事 務 手 当	80,000	0	-80,000	5,000円×16人分
4. 事 業 費	905,000	849,871	-55,129	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	3郡市へ(各20,000円)
(2) 秋季研修大会費	50,000	50,000	0	会場費、講師謝礼、資料等
(3) 調 査 費	5,000	3,000	-2,000	調査等に係る経費
(4) 会 報 印 刷 代	240,000	205,920	-34,080	県会報印刷費(2回)
(5) 郡市連絡協議費	100,000	71,180	-28,820	郡市総会、郡市研修会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	140,000	140,900	900	郡市へ100円×納入者数(1,409人)
(7) 「教育の日」活動費	30,000	30,000	0	あきた教育の日関連活動費
(8) 郡市会長会会議費	80,000	88,871	8,871	交通費、会場費、懇親会補助等
(9) 記念事業準備金	120,000	120,000	0	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	80,000	80,000	0	周年事業へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負 担 金	580,000	580,000	0	全国(400円×1,409人)、東北2万
6. 予 備 費	4,540	120,000	115,460	
合 計	2,184,540	2,238,998	54,458	

令和2年度 収 支 予 算 書

収入総額 2,071,545円
 支出総額 2,071,545円
 差引残額 0円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	付 記
1. 負 担 金	2,062,500	2,100,000	－37,500	1,500円×1,375人
2. 特 別 協 賛 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	9,035	84,530	－75,495	令和元年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	10	0	預金利子
合 計	2,071,545	2,184,540	－112,995	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	175,000	195,000	－20,000	
(1) 総 会 費	100,000	100,000	0	交通費、資料等
(2) 理 事 会 費	55,000	55,000	0	交通費、昼食代
(3) 監 査 会 費	20,000	20,000	0	会場費、交通費等
(4) 幹 事 会 費	0	20,000	－20,000	会議費等
2. 業 務 費	310,000	320,000	－10,000	
(1) 旅 費	280,000	300,000	－20,000	全連退、東北協議会他
(2) 慶 弔 費	30,000	20,000	10,000	慶祝、弔意、表彰
3. 事 務 費	140,000	180,000	－40,000	
(1) 通 信 費	40,000	45,000	－5,000	会報等送料、発送用具等
(2) 消 耗 品 費	20,000	25,000	－5,000	紙、封筒、インク等
(3) 雑 費	15,000	15,000	0	筆耕料、謝礼、他
(4) 事 務 局 費	15,000	15,000	0	事務局通信費、コピー、印刷費等
(5) 事 務 手 当	0	80,000	－80,000	
(6) 報 償 費	50,000	0	50,000	
4. 事 業 費	872,500	905,000	－32,500	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	能代山本、秋田、大曲仙北へ各20,000円
(2) 秋季研修大会費	80,000	50,000	30,000	会場費、講師謝礼、資料等
(3) 調 査 費	5,000	5,000	0	調査等に係る経費
(4) 会 報 印 刷 代	200,000	240,000	－40,000	県会報印刷費(2回)、関係資料代
(5) 郡市連絡協議費	100,000	100,000	0	郡市総会、郡市研修会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	137,500	140,000	－2,500	郡市へ100円×納入者数(1,375人)
(7) 「教育の日」活動費	50,000	30,000	20,000	あきた教育の日関連活動費(ポスター作成)
(8) 郡市会長会会議費	80,000	80,000	0	交通費、会場費、懇親会補助等
(9) 記念事業準備金	80,000	120,000	－40,000	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	80,000	80,000	0	特別会計へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負 担 金	570,000	580,000	－10,000	全国(400円×1,375人)、東北2万
6. 予 備 費	4,045	4,540	－495	
合 計	2,071,545	2,184,540	－112,995	

令和元年度 特別会計決算書

収入総額	673,512 円
支出総額	650,000 円
差引残額	23,512 円

【収入内訳】

1	前年度繰越金	553,508 円
2	記念準備金	120,000 円
3	利子	4 円
	合計	673,512 円

【支出内訳】

1	50 周年記念事業	
	10/11 事業準備金(50 周年事業へ)	120,000 円
	10/15 50 周年事業費	530,000 円
	合計	650,000 円

※ 上記の残額 23,512 円については、別冊「特別会計」用の通帳に、貯金保管中である。

鹿角

郡市だより

—退職校長会に寄せる思い—

子供達に何か手助けできること

猪股俊彦

終末を考える年齢になり、"おこがましい" 思いが募ります。未曾有のウィルス禍に見舞われ、長期の籠りを否応なく強いられました。夏休みの短縮、学習時間の追加など教師も子供も多くの負担が増えます。経験豊かな先輩教師は、学力格差を縮め、不安を抱えた学習者に寄り添い、自信と希望を与える大切な役目を求められることと思います。学校のリーダーは地域社会でも多くの役目を持っています。個人としても様々な課題があると思いますが、余生を楽しみ、余力をつかって小さな「貢献」をしたいものです。

退職後に見えてきたこと

佐藤友信

退職後戊辰戦争に興味をもち、最近は初代会津藩主保科正之を追っているが、戊辰戦争も明治維新で葬り去られた会津の精神には今でも学ぶべきことが多い。明治以降の歴史は薩長による侵略と征服の歴史であり、社会も学校教育も未だにその影響下から出ていない。大前研一氏は日本に地方自治体はないと言っていたが、今回のコロナ禍でそれが明白になった。地方自治体ではなく、ただの地方公共団体だったのだ。教育も上から下への一方通行で、人も社会もあまり育っていない。退職しても、まだまだやるべきことは多いようだ。

大館北秋田

お世話になります

伊藤康栄

コロナ禍の慌ただしい中でしたが周りの人たちの支えがあつて無事に退職を迎え、四月一日からいただいた仕事に励みながら断捨離と主夫業研修中です。退職校長会に入会するにあたり、お世話になった先輩から声をかけていただき感謝とともにほっとする気持ちになりました。退職後を生き活きと生活しておられる諸先輩から学ぶ機会をいただき、新入会員として身が引き締まる思いです。人生百年時代といわれている今、お世話になった人や地域にお返しができるかと思ひながら、これからの見通しがもてたような気がします。よろしく願います。

自分なりの生き方で

永井孝久

三十六年間の教員生活を終え、四月から教育研究所で「子どもハローワーク事業」に携わらせていただいております。子どもたちの未来予想図づくりの一助になれるように、責任を感じながら毎日を過ごしているところです。退職校長会総会には現役時代に何度か出席する機会があり、その都度、退職しても衰えることのないあふれる教育愛を感じたものでした。この度、私もその仲間に入れさせていただくにあたり、諸先輩のように「教育は人づくり」という精神を大切にしながら、自分なりの生き方をしていきたいと思ひます。

能代市山本郡

退職校長会に入会して

五代儀 敏 正

三月末に退職し、能代市山本郡退職校長会に入会させていただきました。例年であれば総会に参加し、お世話になった諸先輩方から新たな人生の過ごし方等についてご示唆いただけるはずでしたが、現実には家にこもっている状態が二ヶ月以上続いています。現職時代にイメージした退職後の生活とはあまりにかけ離れています。この状況は必ず好転するものと楽観視しています。その際には、生きがいを見出し豊かな人生を歩む諸先輩方を見習い、自分にできることを見つけて退職校長会や地域のために貢献できればと思います。

世界的な危機の中で

鈴木 和人

本会に入会したものの、新型コロナウイルスのため総会が開催されず、諸先輩へのご挨拶もできないまま今に至っており、申し訳ありません。

今は、家庭や地域のために現職からやってきたことや学びを、自分のペースでじっくり関わることで、毎日が充実しています。

一方で、人命が経済かのジレンマを抱える社会で、医療・保育・介護のケア労働や運輸・ごみ回収などは危険な中で生活を支えていることに心が痛みます。その中で、これから起きる危機を乗り越えるには、夢をもって学ぶことが必要だと思いました。

男鹿市

男鹿市退職校長会に寄せる思い

小笠原 守 子

今回、新型コロナウイルス感染症対策のため、市退職校長会総会・研修会は一ヶ月遅れで開催しましたが、懇親会を中止しました。会員の親睦を図ることが大きな目的の会だけに、残念に思われている方が多いかと思われます。私は、この会に参加することにより、研修の機会に恵まれ、すばらしい会員の皆様と交流することができました。特にこの四年間は、微力ながら副会長として、会長をはじめとする役員の方々に支えられ、役目を果たせたことに感謝します。退職校長会の更なる発展を願っています。

会報の編集を通してのかかわり

新田 清 志

男鹿市の退職校長会に入会後、二年目から会報編集担当として役員に加わり、昨年度まで十年務めて役目を終えた。

実施事業を取材して記事にまとめ掲載するのだが、録音を何度も聞き直して内容を確認するとともに文章表現や構成を工夫することで、事業に出席できなかった会員にも正確に伝わるよう心がけた。こうした過程が私自身の理解を深めることにつながっていたように思う。さらに、多くの会員からの積極的な投稿があり、随想を通して会員が交流し合う会報にできたことを感謝したい。

潟上市・南秋田郡

先輩諸氏に委任

戸 部 裕 隆

大寒のころ地区入会のお誘いがあつた。熟考することもなく手続きをしたが、コロナ禍のため過日郵送された書面総会資料には当会の存続を問う会長提案が盛り込まれていた。突然賛否を問われ困惑した。再任用や再就職の割合が大半を占める当地区の背景・事情もあるようだ。判断は先輩諸氏に委ねることにし、まずは第二の職場で肩肘張らず動こうと心掛ける日々である。

諸課題を乗り越えるための手助けを

稲 荷 一 清

新型コロナウイルス感染防止対策・対応で、学校がかつてない局面を迎えた中で退職となりました。早く子どもたちが全力で自分づくりに励めるようになることを願います。

さて、現職中にとっても心強かったことは、潟上市・南秋田郡退職校長会との合同教育懇談会における学校経営についての助言でした。変化する社会を踏まえた的確な助言に勇気付けられることが度々ありました。

今後も諸課題を、学校がよりよく乗り越えられるよう、支援、手助けができる退職校長会と自分でありたいと思っています。

秋田市

つながり

工藤 絹子

校長一年目の三月に、東日本大震災が起き、卒業式の式辞で、「多くの方々と共に、今日の日を迎えられ、有り難く思います。」と、語りました。以来、大きな式では、このことを気持ちを込めて、毎回、伝えてきました。しかし、教職人生最後の式辞で、この言葉はありませんでした。卒業生と職員のみ卒業式に臨むに当たり、人が、時と場を共有してつながれる有り難さを改めて考えました。四月からの新たな生活でも多くの方々とつながり、先輩方と交流できますことを幸に思います。何卒よろしくお願いいたします。

オンライン学習の可能性

今田 智範

コロナ禍の影響で休校からそのまま春季休業に入ってしまった。辛うじて卒業式と離任式はできましたが、苦しい三月でした。

さて、四月から教育研究所の教育アドバイザーとして、研修のお手伝いをしています。講義や協議の資料収集のため全国の学校の実践を調べて見ると、オンライン学習の実践が数多く見られます。現在の教育の弱点を補完する実践ですので、コロナ後も継続されると思います。多くのスタッフが必要です。退職校長会の協力も必要ではないかと思ひ、PCとスマホで一人オンラインの実践中です。

由利本荘・にかほ

退職校長会への入会

三浦 宏

この三月三十一日をもって三浦宏と申します。最後に退職いたしました三浦宏と申します。よろしく申し上げます。とは申し上げつつ、四月一日より本荘南中学校を本務校として他三中学校を持ち回りとする、初任研統括指導員としての仕事を仰せつかり「退職」とは名ばかりで毎日仕事に励む日々を過ごしております。退職校長会の諸先輩の皆様には、現職時代より様々な機会を通じてお世話になつて参りましたが、今現在「入会」の実感はないながらも可能な限り退職校長会充実・発展のために取り組んで参りたいと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

退職校長会に加入して

打矢 敏昭

新型コロナウイルス感染予防の対応で追われた三月、想定していた学校行事ができなくなり、今振り返ると多少の喪失感があつたのは確かです。正直な所、子どもたちと別れの式ができなかつたことで、過去を受容できない自分がいました。しかし、これまでお世話になつた大先輩からお電話やお葉書で、心温まるお言葉を頂戴し、少しずつ心が落ち着いてきました。

四月末日、由利本荘・にかほの退職校長会総会資料が郵送され、会務報告、予算、役員、名簿等に目を通しました。お名前を拝見すると、改めてたくさんの方にお世話になつたことを思い出し、感謝の思いを十分にお伝えできなかった自分の非を恥じてしまいました。コロナ禍による新しい生活様式で構いませんので、一日も早くお目にかかれることを願つております。まだ退職校長会の一員としての実感が湧きませんが、新米の一人として、先輩方に学びつつ、地域や学校のために自分ができることを考え、「行動人」の一員になりたいと思つています。

大曲仙北

コロナウィルス感染の収束を願う

沢屋 隆世

定年退職を迎え、さあこれからラストスパートと思つていた二月末。まさかの新型コロナウイルスの感染拡大を受け、三月末の退職の日までこれまでの教員生活の全てをかけた知恵を絞り出した日々でした。そして迎えた四月一日は、やりきつた感でいっぱいでした。この度、退職校長会に会員として加えていただきましたが、コロナの影響で総会、懇親会が実施できず先輩たちとは懇談ができずにいます。今は一日も早く収束してくれることを願ひ、一献傾けながら今後の人生についてご教示いただきたいと思うこの頃です。

先生たちへのエール

藤田 直樹

大仙のFMはなびラジオから先生たちの激励の言葉と歌が流れてきました。休校で家にいる児童生徒たちに向けてでした。学年の子どもたちに呼び掛ける先生たち、学級の一人一人の子どもの名前を呼ぶ先生、校歌をうたう先生たち、昔はやった歌の替え歌で楽しませる先生たち、どれもが温もりのあるメッセージでした。同職した先生の声も流れたので、すぐに電話をかけました。学校現場は想像以上に対策に苦慮しています。先生たちも不安や弱音を吐露してカタルシスとなる場と時があればいいと思いました。

横手市

60の手習い

石川 淳

新型コロナウイルス対応で学校はさぞ大変だろうと前任校横手北小学校応援団としては何もできないもどかしさを感じながら2ヶ月が過ぎました。縁があつて横手市教育委員会で教育・保育アドバイザーを拝命し、就学前教育の充実や幼小の円滑な接続等のために微力ながら取り組んでおります。「保育所保育指針解説」を読み込むなど、まさに「60の手習い」状況です。現場でお世話になった多くの先輩方への感謝、そしてこれからの学校を担う先生方の応援団として微力ながら頑張ります。よろしく願います。

二〇二〇 新型コロナウイルス

佐藤 宣延

新型コロナウイルスの危険性と同時にその予防策も明らかになってきた昨今ではありますが、今なお予断の許さない状況が続いています。今年度から旭交会(横手市退職校長会)の一員に加えていただいたのですが、今年度の総会はこちらまでのものとは違う、自身としてはとても残念な形で行われました。

今は、コロナ被害が本市児童生徒や学校職員、そして先輩会員の皆様方に及ばないよう、また一日も早く終息することをただただ願っています。

湯沢雄勝

退職後は自分と人のために

鎌田 功

若々しく活躍する姿、または悠々自適に生活する姿、どんなセカンドライフを過ごすのか、わくわく気分です。「コロナ退職」を迎えました。平日だからできる遊びも楽しみにしていました。が、教育委員会で日本語教室などを含む社会教育の仕事の声がかかりました。新たなジャンルの人々とのふれあい、幼保小事業などの学校との接点も保ちながら、これまでとは違う社会人として新鮮な楽しみを味わっています。

自分への褒美の時間も大切に、退職された諸先輩のご指導を頂きながら、地域や社会に何かしら役に立てる人間でありたいと思います。

これまで経験したことのない春に

柴田 浩義

コロナ禍の危機管理の最中に定年退職となり、思い入れの深い湯沢市立山田中学校を去ることに抵抗を感じた三月でした。

湯沢雄勝退職校長会「萌友会」に入会も、年度明け、先輩の校長先生方とはまだ一度もお会いしておりません。それでも、電話やお手紙にて「お疲れ様。」と声をかけていただき、何か新鮮な感覚の中で深い感謝の念を抱いた四月でした。今後、世の中が少しずつ新たな日常を形成していく中で、私自身も萌友会会員としての新たな自分を創造したいと思います。よろしく願います。

会員の逝去(敬称略)

心からご冥福をお祈りいたします。

(94号以降)

氏名	年月日	住所
齊藤 繁男	2・2・24	鹿角市花輪字馬場
木次谷茂郎	2・4・19	鹿角市尾去沢字六角平
白澤 良明	2・5・20	鹿角市尾去沢字西道口
三浦 謙蔵	2・2・7	北秋田市阿仁水無字畑町東裏
佐藤 正	2・2・29	大館市東台
桑山 隆雄	2・6・24	大館市字上町
能上 正男	2・2・14	能代市花園町
中村 宏甫	2・4・1	能代市落合字中大野台
中村 隆	2・2・27	男鹿市船越字杉山
石川 實	2・4・11	男鹿市戸賀戸賀字戸賀
長澤 昭治	元・12・17	秋田市広面
高橋 壽男	2・3・4	秋田市土崎
高桑 秀男	2・3・9	秋田市牛島
大竹 東	2・3・15	秋田市手形
佐藤 良太	2・3・18	秋田市広面
佐藤 一視	2・5・26	秋田市保戸野
杉山 英二	2・2・3	由利本荘市一番堰
藤田 晃	2・4・21	由利本荘市大鉄町
鎌田 次男	2・4・7	大仙市大曲花園町
伊藤 正	2・4・28	大仙市大曲戸巻町
長澤 秀二	2・6・16	大仙市神宮寺荒屋入
阿部 正美	2・2・16	湯沢市清水町
土田 章彦	2・5・4	湯沢市元清水

コーナー
現職&退職 情報交流
——主な動きから——

現職サイド①

県総会・退会会員感謝の会

五月九日（土）に開催を予定していた表記総会は、四月当初は現職の校長会会員のみで実施を予定していたが、コロナウイルス感染拡大の防止のため、五月十二日に書面表決を実施し、もって総会案件等が承認された。なお、四月当初から中止を表明していた退会会員感謝の会は中止となった。

書面表決をもって決定した令和2年度の主な新役員は次のとおりである。

【小学校】 【中学校】

役職	氏名	校名	氏名	校名
会長	越中谷俊悦	旭南	齋藤透	秋田東
副会長	伊藤一	保戸野	渡邊政志	秋田南
"	山本英幸	鷹巣南	田中一良	花輪
"	畠山勇市	飯田川	森茂樹	本荘南
"	佐藤克己	横手南	嵯峨康弘	大曲

なお、小・中学校長会長には越中谷俊悦氏が決定した。

現職サイド②

今年度の東北および全国大会

今年度の現職校長のいわゆる東北および全国大会は、小学校、中学校ともに大会そのものは実施しないことである。

ただ、次年度（令和3年度）の大会に繋げるために、小・中ともに紙上発表という形を取りながら大会冊子は作成する方向で動いているとの情報を得ている。

退職サイド①

令和2年度「郡市長・事務局長合同の会」

例年7月に開催していた表記の会は、コロナウイルス感染防止の観点から、会そのものは中止とし、紙面での情報交換のみとするにとした。

（各地区からご協力いただいた情報交換資料は、7月中に各郡市事務局に送付しましたので、機会がありましたら、ぜひご一読ください。

なお、情報交換した内容の一部ではありませんが、次の三点についての各地区の状況をまとめましたので各地区の今後の活動の参考にしてください。【担当記】

令和二年度

「郡市長・事務局長合同の会」

書面での情報交換資料より一部抜粋

今年度の総会の状況について

鹿角

令和2年度は総会開催を見送り、書面による表決を実施した。75名の会員中、70名

の回答者全員の賛同をいただき、総会決議は成立された。

大館北秋田

今年度の総会は4月25日（土）、ホテルクラウンパレス秋北を会場に開催する予定であったが、「新型コロナウイルス」の影響により「中止」とした。

総会での提案内容については、昨年度末の第2回理事会で審議・了承されているので、会員へは要項等の資料配付で議案（会務報告や予算書、事業計画等）の承認に代える。

能代市山本郡

4月18日（土）に、総会と懇親会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から中止とした。議案書（案）を全会員に配付し、文書審議の形で承認してもらった。新入会員の歓迎会を兼ねていただけない中止となったことは甚だ残念である。

男鹿市

総会・研修会

・令和2年6月13日（土）
・来賓等3名、会員20名、計23名が出席
・研修会…演題
『続日本100名城 脇本城』をめぐる歴史

講師 男鹿市菅江真澄研究会事務局長

脇本城跡案内人 泉 明氏

当初5月2日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症関係で1ヶ月延期し懇親会は開催しなかった。出席者が減少することが危惧されたが、例年と変わらぬ出席者数だった。

潟上市・南秋田郡

新型コロナウイルスの影響で、三密を避けるため、集会等が自粛されていたことを受け、本会でも、会場や内容を変えて実施できないか検討したが、緊急事態宣言が発出されたことから、通常の総会は中止とした。その代わり資料を送付して葉書による紙面総会を行い会員の総意を確認した。

秋田市

4月25日に予定していたが、コロナ禍による緊急事態宣言の期間中ということもあり、総会および理事会は中止となった。総会議案について、理事全員から書面同意を得て、活動をスタートしている。

由利本荘・にかほ

4月25日(土)
新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。3月18日(水)に開催した理事会の承認内容を総会に代わる議決とした。

大曲仙北

全国的なコロナ禍対応で本郡市の総会も紙面による報告に切り替えた。総会に先立ち、理事会も紙面により議案提示し、議案

可否と意見をもらうこととしたが、全理事から賛同と労いの声もいただいた。

横手市

5月22日(金)を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため、書面決議という形式をとり会は開催しなかった。

湯沢雄勝

今年度(令和2年度)の総会は、開催はせず、書面決議の形式で行った。



現職の応援団として取り組んでいることについて

鹿角

年に一度開催している教育懇談会は、現職校長も参加し、学校の様子を伺いながら、情報交換をする場となっている。更に、学校教育活動への指導・協力等、支援活動に多くの会員が参加している。

市教委が主催している登校時の「声かけ運動」では、多くの会員が自宅近辺での見守り活動に取り組んでいる。

大館北秋田

本会主導の活動としては、3年に一度の「現職との合同研修会」と、会員寄稿や学校紹介のページなどを盛り込んだ会報(年一回発行)を作成し、現職校長へも配付する。その他、必要に応じて県からの情報を伝達したり、情報交換をしたりする。

会自体の活動というより、会員個々が退職後も教育の振興に寄与する視点で、学校や地域の要望等により、「指導教員」「学校評議員」「地域コーディネーター」「相談員」「公民館長」「見守り隊」等々、様々な形で直接的、間接的に関わっていると思われる。

能代市山本郡

本会としては特に取り組んでいないが、個人的には学校支援ボランティアや学校評議員、学校支援員等として、かかわっている会員が増えてきている。

男鹿市

退職校長会から現職校長会に対して、協力できることがあったら言ってくれと声がけしているが反応はない。退職校長会員の多くは、何らかの形で学校の応援団の役割を果たしている。

潟上市・南秋田郡

本地区の大きな事業として現職校長会との合同の教育懇談会があげられる。講話もできるだけ現職・退職どちらにも有意義な内容になるようにしている。また、情報交換会も、内容を絞ることで学校経営に生かせる話し合いになるよう配慮している。

秋田市

- ・合同の教育懇談会の開催
- ・会報「菊水」の現職への配布
- ・2月の現職校長会で退職校長会への入会案内

由利本荘・にかほ

「学校教育活動支援人材バンク」に協力できる会員が登録し、その一覧表を各学校に配付している。各校長はそれを基に必要なに応じボランティアの依頼をしている。

大曲仙北

現職主催、退職校長会後援の「玉川先賢彰徳行事」では神事の後に懇親会にも参加。あくまでも現職から声があがったらお手伝いできるよう、けっして現職の負担にならないようにつとめていく。

横手市

年一度の現職校長会との合同研修会での情報交換。

湯沢雄勝

退職校長会として窓口を設け、学校訪問や現職の校長会で教育活動支援の説明を行い取り組んでいる。近年、学校が地域支援本部事業を立ち上げたりコミュニケーションスクールになったりしていく過程で、会（退職校長会）へとより個人への直接依頼となっている。

今年度の各種会合・研修会等の開催見込みについて

鹿角

開催は難しいのではないかと考えてはいる。中止も視野に入れ、感染の拡大状況をみながら、役員会で検討していきたい。

大館北秋田

例年11月に実施している「研修会」は「中止」とし、「会報」のみの発行で検討している。（7月の理事会で決定）、「現職との合同研修会」は昨年度実施。

能代市山本郡

7月31日（金）に開催する予定であった教育懇談会を中止とした。

男鹿市

10月16日に開催予定であるが、7月下旬の幹事会で開催の有無について協議する。

潟上市・南秋田郡

今年度は、残念ながら中止することに決定した。

秋田市

11月14日（土）現職・退職校長会教育懇談会を開催予定であったが、次年度へ延期することとした。

由利本荘・にかほ

10月3日（土）に現職・退職校長交流研修会を予定しているが、今後の状況によって開催の有無を判断する。

大曲仙北

県南教育懇談会や研修視察、各同好会活動などは今の時点では実施の方向。

横手市

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が終息に向かうようであれば、9月下旬に現職校長会との「教育を語る会」を開催する予定であったが中止の方向で検討中。

湯沢雄勝

事業については、コロナ感染の収束状況を見て役員会を開き対応していく予定である。まずは新会員の歓迎会を早期に実施したいと考えている。

退職サイド②

第42回秋田県秋季研修大会延期に

コロナ禍が収束していることも十分（期待も込めて）予想されるが、第2波、第3波の懸念はもちろん、大会に向かう準備等のことも考え、表記大会は一年延期することになった。

来年度（令和3年度）は盛大かつ充実した大会になるものと期待しております。

会員の寄稿

「出会いに感謝」



鹿角 澤口 康夫

退職し三年が過ぎましたが、今日まで様々な出会いがありました。特に、現職中は十人の校長先生との出会いがあり、多くのことを学びました。現在の教育に対する考え方のバックボーンになっていることが多々あり、感謝の気持ちでいっぱいです。先日、資料を整理している中、当時の校長だよりを発見し読み返しました。ある年の四月号の見出しには、「やる気を育てる人的・物的条件」「学習の基本・習慣の確立」「全校の共通実践が大切」と書かれていました。

社会の変化に伴い日本の教育も様々な変革が求められている中、「教育の不易」「学校の経営の根幹」について、改めて深く考えさせられました。機会があれば現職の校長先生たちに伝えたい事柄の一つです。

また、宗教学者の山折哲雄氏との出会いは、八幡平中時代の「心を育む全国フォーラム」の時でした。「もてなし」をテーマに「出迎え三步、見送り七歩」についての講話で、今でも大変印象に残っています。

私は、退職後、縁あって家庭教育相談員を務め、現在は小坂町教育長として、教育行政に携わっています。「教育の不易と流行」を念頭に置きながら、これまで多くの方々から学んだ財産と人との出会いを大切に、小坂町の教育振興に努めたいと考えています。

(平成二十九年三月退職)

ただ中に生きている



大館北秋田 花田 千明

お団子を葉に載せたような赤紫の牡丹、シヤクナゲの濃いピンクのつぼみは、小花が開くにつれて淡く装いを変えた。

心躍る春のこの時が、今年は違う。国内、世界のニュースには不安、戸惑い、恐れがあふれ漂い、これまでの平穏な日常がひっくり返った。

黄色い帽子の四月に入学した孫娘が、休校後に登校を渋りだした。

「学校全体がいやなの。」

同行の私に、小声を絞り出すように言う。

四月早々の休校、感染対策、前後の力キユラム、休業中や後の児童との関わり方等々誰もが初めての事なのに、即座に対応を迫られる校内の大変さと思う。先生方はどうしておられるのだろう。そしてまた、巣ごもり後の学校生活への何とも言えない不安が幼い子の胸を締め付けていることにも心が痛む。

幼子よ、あなたも、先生も、そして私も、新型コロナウイルスパンデミックのただ中を生きているのだ。

梅の枝にいつものモズがやって来た。

孫は、体育館で遊んだことや、縦割清掃の様子などを話すようになった。前を向いた。花はアイリスに移った。私は隣の菜園に出かけよう。小花模様の手作りマスクは無しで。

(平成二十四年三月退職)

「フェースシールド」



能代市山本郡 田村 育子

コメディアン志村けんさん急逝のニュースが流れた時は本当に驚いた。同時に、この「新型コロナウイルス」に得体の知れない怖さを実感した。学校は学年末から突然休校になり、授業が中断したり卒業式も一部の出席で行われたりと大きく混乱した。ついには、「緊急事態宣言」が出され、外出自粛や店の休業など、三月中旬から五月までわずか二ヶ月のうちに日本中が一変してしまった。

そんな大変な苦境に追い込まれた中で、テイクアウトやドライブスルー方式など、人はこんなにも知恵を出し難局を打開していく逞しいものだと感じる出来事もいろいろあった。また、地元の新聞は多彩な企画で支援していた。紙面いっぱいマスクの実物大型紙や名作文学、簡単な料理のレシピ掲載など、どれも生活を潤してくれた。私も物語の続きを楽しむにしたり作ってみたりした。

それから、最近目にするようになった「フェースシールド」も作ってみた。医療機関などで使う顔全体を覆う透明のマスクのことであるが、危機管理とはいえ何か息苦しい。一般人が日常使いする光景にも違和感がある。最前線で戦う医療関係者の方々には感謝するばかりであり、早く治療薬やワクチンが開発されることを世界中が願っていると思う。

(平成二十四年三月退職)

少しだけ無理して生きる



男鹿市
栗森 貢

令和二年二月二十七日夜、安倍首相の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う全国の小中高校等の春休みまでの臨時休業要請」は学校現場に大きな衝撃を与えた。じつくり考えたり連絡調整をしたりする余裕のないまま三月二日からの臨時休業に入った。卒業式や学習指導の未履修部分対策など考えるいとまはなかった。

感染力が想像以上に高く、重篤化しやすいことなどは感染が広まってから感じたことだ。パンデミック、クラスター、三密など新たに知った言葉もあった。学校現場は、まさにクラスターの起こりうる三密状態が常態化している場所である。三密を解消するために現場では涙ぐましい取組をしている。運動会や修学旅行の延期、県中総体や吹奏楽コンクール、高校野球大会の中止など、部活動において生徒たちが目標を掲げ努力を重ね培ってきた能力や技術を発揮する場所がなくなっってしまった。力を出し切った敗北とは違う虚無感が残る。日本だけでなく、世界の至る所で、子供から大人までみんなが傷ついたり深い悲しみにうちひしがれたりしている状態である。

この状態を受け止めながら自分自身何が出来たかを考えた。少しだけ無理をして生きてみよう。何か出来ることがあるはずだから。

(平成三十年三月退職)

損をしないために



潟上市・南秋田郡
舘岡 和人

退職して二年の私はまだ若葉。現在、潟上市体育協会にお世話になっている。七、八十代の地域の方々が日々体育館で元気に活動している姿には驚かされている。天王地区在住のHK大先生のお姿もあり、二十年後の自分と重ね合わせている。目標でもある▼今年から、体育協会が法人格を有した。体育協会という新たな会社設立されたのである。社員四人の給与計算をしているのが私である。自分の給与を自分で計算し、自分の通帳に振込手続きをするなんて……。考えてもいかなかった。これまで給料と給与の違いも分からず、ただただ振り込まれたことで喜んでいただけが給与▼給与事務担当者として法人設立届、給与と支払事務等の開設届、社会保険、厚生年金、健康保険証等々の手続きをし、社会労務士、税理士、司法書士に説明されながら悪戦苦闘の毎日。〇〇保険料と名の付くもの、なんと多いことか。電卓様のおかげで、無事、四月分給与が振り込まれ、健康保険証も手元に届いた。感激した。ここにきて学校事務職員の方々の苦勞が分かった▼今更ではあるが、健康保険、年金制度など社会保険制度がどうなっているのかなど、社会の仕組みを理解した。ボケないうちにせめて損をしない知識を得ておきたいものである。

(平成三十一年三月退職)

これからは土を耕しながら



秋田市
佐藤 芳昭

四月、第二の職場も退き、朝の慌ただしさやスケジュール表などから無縁の生活となりました。五年間、何とか無事に嘱託職員としての任を果たしたのかなという安堵感の一方、所属や肩書きがなくなる淋しさや心細さを伴う変化でした。それらを紛らわせ、和らげ、自分にはこれがあるんだと元気を与えてくれたのが田んぼと畑仕事でした。我が家は代々、小さな農家。これまでは真正面から向き合うことなく、前年を踏襲し、何とか一年を終えることを目標に、時には煩わしくさえ思いながら取り組んできた副業が、これからの自分の支えになろうとしています。

社会教育事業担当であった第二の職場では、多くの高齢者が知識・技術を高める、交友を広げる、社会に貢献するなどを目的に生き生きと生涯学習に取り組む姿を目の当たりにしました。いよいよ、自身がそれに倣う番です。万般に関心をもち、交友を深め、より高い自分を築く気持ちを支わないで学び続ける正に豊かな心をもって第二の人生を生きるあの高齢者の姿を、土を耕しながら追いかけていきたいと思えます。今、リタイア後の生き方の参考として注目されている江戸の隠居暮らしが教えている「これまでを捨て、前向きに楽しむ」ことの大切さを忘れずに。

(平成二十七年三月退職)

ロードバイク



由利本荘・にかほ

菅原耕悦

自粛生活が続く中、何か楽しいことはないかと考え、30年程前に買い、この頃ご無沙汰にしているロードバイクを引っ張り出した。ところが、その姿は、見事に錆だらけで、おまけに後輪はペレヤンこにつぶれていた。まずは、修理とメンテナンスだ。チューブを引き出しパンク箇所を確認。修理は比較的簡単に終わることができたが、やっかいなのが錆落としだ。ホームセンターで錆落とし剤とチェーンオイルを買い、作業を続行した。チェーンやペダルなど、錆という錆に溶剤を塗り、ブラシでゴシゴシこすり、やっと人前に出せる程度に仕上がった。オイルを差し、ペダルを回してみる。シャーツというきれいな音が蘇った。

次は試走だ。近所を乗り回す。なかなか



良い感じだった。近所を乗り回す。なかなかペダルを回すたびに力リカリといやな音がする。なぜだろうと家に帰りパソコンに向かって。「ロードバイクの異音」と検索すると、『クラシックのガタつき』などが出る。今は何でもパソコンが教えてくれる。しかも動画付きで。ペダルと車体を繋ぐクラシック部分を動かすと確かに緩んでいる。ネジを締め、もう一度走り出す。今度は異音がしない。完璧だ。「少し走ってみよう」と、片道約15kmの前郷駅までサイクリング。駅には、おもちや列車『なかよしこよし号』が停まっていた。今年はロードバイクで遊ぶとしよう。

(平成二十九年三月退職)

須田流「食道知ったかぶり」

大曲仙北

須田 喬

丸谷才一の有名な著書に「食道知ったかぶり」という本がある。丸谷才一の食通ぶりに、足下にも及ばないが私流に「食道」を求めてきた様子の一端をお知らせしたい。

大曲や秋田、横手、角館など自分が勤務した場所は家から遠く、広く県のおいしいものを探して歩くことにつながった。野菜の産直店や道の駅にも足繁く通い、新鮮でおいしい地元のものを知ることができた。その中で、協和稲沢の一つの野菜の産直店を紹介したい。皆さんも、今の時期、山菜をおいしく召し上がっていると思うが、この店はどこよりも、安く、新鮮な山菜を提供している。何よりも、地元のおばあちゃんたちの飾らない、あたたかみのある接客が魅力だ。春の山菜から始まって、トマトやキュウリの夏野菜、秋のキノコ、芋の子と季節ごとのおいしいものは安い上に、取れたて新鮮だ。地元の人はもちろん、私のように遠くから足を伸ばすファンも多く、タウン誌にも何回も取り上げられた店だ。野菜だけではない。私の密かな(?)この店のお目当ては、これから旬を迎えるイチゴとブルーベリーだ。「イチゴほしか」時期になると私の携帯に稲沢のおばあちゃんから電話が入る。店に行き、お目当ての食材を買っておばあちゃんと話をして来るのが何より楽しい。

(平成三十一年三月退職)

「趣味の農業で心癒やして」



横手市

佐々木 正

現職時は、行政の指導を受け多くの同僚に助けられて退職を迎えることができた。退職後は参事、教育アドバイザー(と原稿執筆)、顧問と三枚の名刺を使わせていただいている。学校や教育委員会等を訪問させていただき、先輩やかつての同僚・後輩にお世話になり充実した生活を送っている。これに農協や農業共済の係、集落の係も退職後から増えてきた。結構多忙で有り、退職後楽しみにしていたスポーツ観戦(感染症予防で中止や延期もあるが)もあまりできなくなっている。

現職時から家業の農業をしてきたが、退職後は一馬力で二ha余の田にあきたこまちを植えて、四十aの畑の半分に趣味の野菜や果樹の栽培をしている。六月上旬の現在は、タラの芽、ばっけ、うど、ホンナが終わり、アスパラ、萬、大蒜、ミズ、みつ葉、茗荷等の春夏野菜に萬、桜桃が食べ頃となってくる。この他に春に種を蒔いた葉物野菜、苗を植えた夏物野菜がほとんど自給自足となる。また植え替えをした食用菊(モツテギク)十六畝や青首・赤・紅・紫・紅心等数種類の種を蒔く大根(昨年は千四百本)等の秋冬野菜の栽培と大栗四本、柿三本を育ててきた。小さな種が芽を出し、葉が出て大きくなり、作物ができる様は大きな喜びとなっている。

(平成二十九年三月退職)

A black and white portrait of Professor Shirohiko Kikuchi, an elderly man with glasses, wearing a checkered shirt. The portrait is circular and positioned on the left side of the page.

佐々木

明

四季の風景を撮り続けて、十六年の歳月が流れた。きっかけは退職した年に先輩に誘われて行ったにかほ市の冬師。ため池に映り込む鳥海山に魅了され、以来、須川高原や阿仁

藤里、八幡平などに通い続け、さらに東北各県や新潟県、長野県に足を運んできた。

なかでも最も印象深いのは上高地で、残雪の北アルプスと新緑が眩しい梓川に、心が洗われる思いだった。ここ二、三年は、溪流や湿原を求めて動いているが、こうした撮影旅行は事前に天気や撮影地の情報、行程等々を丹念に調べ、事後はスキャニングやパソコンへの取り込み、写真の整理などに多くの時間

を費やすが、これもまた楽しみとなる。

出来上がった作品はと言うと、何年たつても露出補正のミスやピントの甘さなど失敗作が多すぎて、納得できる作品はフィルム一本につき、あつても2、3コマ。下手の横好きとはよく言ったものである。

撮影にあたっては、一貫して中判カメラとポジフィルムにこだわってきた。色の深みなど、デジタルとは違う味わいがあるからである。機能がシンプルなことにも気に入っている点である。この後も自分の体力に合わせながら、その日、その時の自然との「一期一会」を求めていけたらと思うている。

(平成十六年三月退職)

おめでとうございます

(順不同・敬称略)

勲叙祝										氏名	現住所	功勞	種類	受章日
高橋 勇	中川 節子	高橋 秀雄	金 春夫	児玉 三朗	近藤 昭助	森岡 昭	小林 孝四郎	松岡 善則	佐藤 利吉					
湯沢市稲庭町字稲庭	由利本荘市本田仲町	秋田市泉	男鹿市船川港双六字打越	潟上市天王字上ノ台	三種町鹿渡片力リ橋	大館市有浦	大館市片山町	北秋田市阿仁木無字畑町裏	大館市早口字上野					
教育功勞	教育功勞	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲	高齢者叙勲					
瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 小綬章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章	瑞宝 双光章					
2・4・29	2・4・29	元・10・1	2・5・1	2・5・1	2・4・1	2・6・1	2・4・1	2・3・1	2・3・1					

おめでとうございます

(順不同・敬称略)

【あとかぎ】

平成二年度になつてからの新型コロナウィルスの猛威と脅威に日常が一変してしまつた感があります。手に入れることが困難であつたマスク等はいろいろな店先で見かけることが多くなりましたが、それでも不安はぬぐえません。万が一感染したとしても、すぐにワクチンを摂取できるという状況が来ない限りこの状況は続くのかとも思います。

今年は我慢と大事を取る一年かと感じます。何より大切なのは人の命だと感じる今日この頃です。皆様もご自愛ください。